

## 学校教育自己診断の結果と分析〔令和4年 12 月実施分〕

○「学校へ行くのが楽しい。」「自分の学級は楽しい。」等の設問について、生徒、保護者ともに、肯定的評価が 85%を超えている。また、学習の評価、いじめへの対応、カウンセリング、キャリア教育、人権教育、学校行事、部活動等に関する設問についても、同じく 85%を超えている。本校が、多くの生徒にとって、安全・安心な「居場所」となっている、また、本校の教育活動についても評価されていると考えられる。

○教職員の「教育活動について話し合っている。」「指導内容について他の教科と話し合う機会がある。」等の設問については、肯定的評価が向上している。観点別評価の導入、ICTの活用推進等により、教職員間の話し合いが活性化している。また、ICT、情報教育に関する項目の肯定的評価が向上している。学校の取り組みが進んでいることが、教職員の回答からも伺える。